

テレワーク月間実行委員会

# テレワーク月間活動報告

テレワーク月間実行委員長  
テレワーク推進フォーラム副会長  
松村茂（東北芸術工科大学）

# 2015年よりこれまでの活動

- 2015年度：月間活動のあり方を多方面から幅広く検討した。検討の結果『実践する』『学ぶ』『応援する』の3つのカテゴリーで、月間中の参加団体の活動を登録、社会のテレワーク活動の見える化で月間スタート。
- 2016年度：マイクロソフトの実施するテレワーク週間と連携し、月間中の社会の活動の見える化を加速させた。
- 2017年度：テレワークデイの開始を受け、web等各種相互に連携。テレワーク活動実施webのリニューアルの実施。
- 2018年度：webのリニューアルを実施。マイクロソフトやテレワークデイズとの連携登録を解消し、単独で登録団体を募集。一方、他団体との呼びかけ・連携を強化。

# 2018年実績

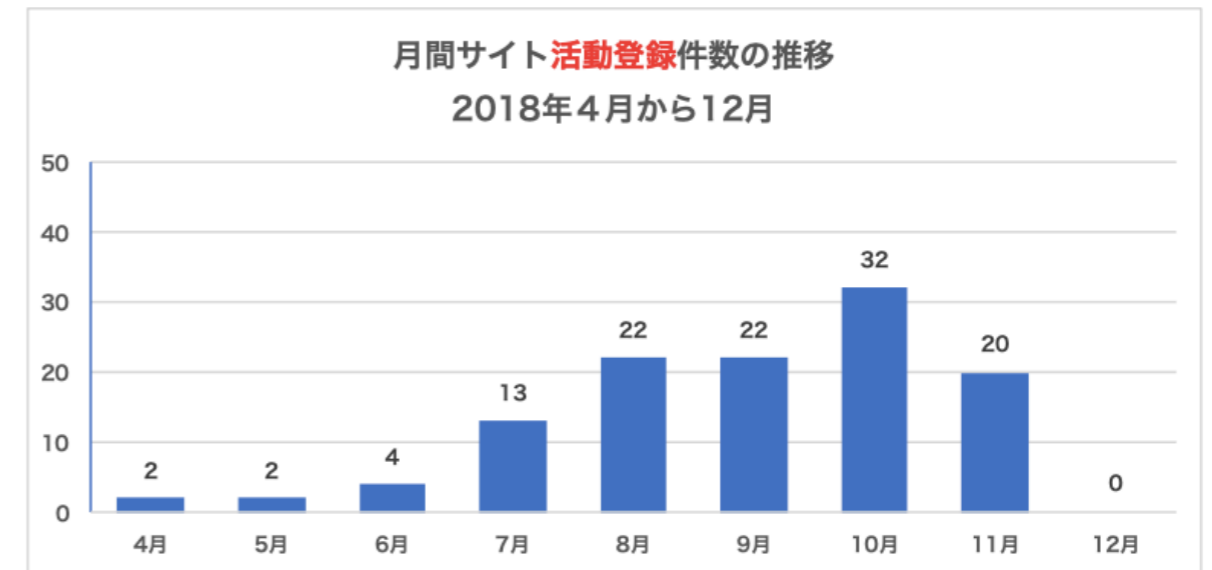
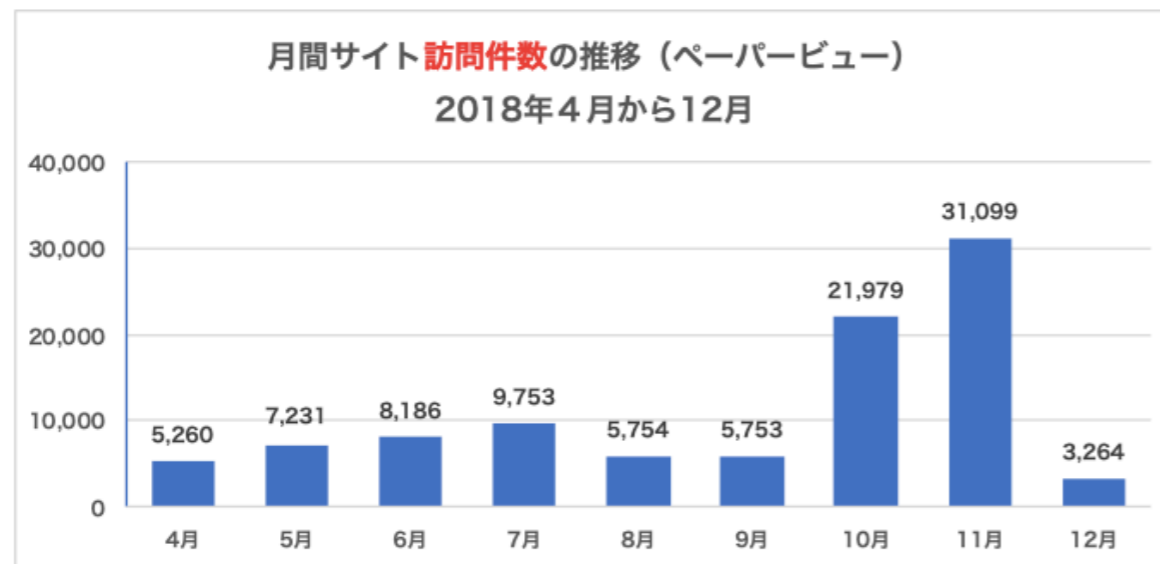
◎10月と11月のアクセスが多く、月間が認知されている。

◎活動登録数はページビュー数に対して約0.1%の関係が見られる。

## ●テレワーク月間サイトペーパービューの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2015年				8,948	5,295	4,552	8,339	10,785	3,529	1,837	1,360	1,205	45,850
2016年	1,133	1,041	1,588	1,850	2,796	6,016	12,243	16,682	3,578	4,039	2,871	2,343	56,180
2017年	13,011	21,376	59,320	249,640	24,147	14,920	33,666	40,490	8,187	5,997	5,896	5,892	482,542
2018年	5,260	7,231	8,186	9,753	5,754	5,753	21,979	31,099	3,264	0	0	0	98,279
累計	19,404	29,648	69,094	270,191	37,992	31,241	76,227	99,056	18,558	11,873	10,127	9,440	682,851

注 2017年6月、7月はテレワークデイ（現デイズ）との合算



## ●テレワーク月間活動登録件数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2015年						10	13	16	0	0	0	0	39
2016年	0	0	0	1	3	88	374	121	1	1	3	0	592
2017年	25	38	143	427	7	3	69	40	4	1	0	1	758
2018年	2	2	4	13	22	22	32	20	0	0	0	0	117
累計	27	40	147	441	32	123	488	197	5	2	3	1	1,506

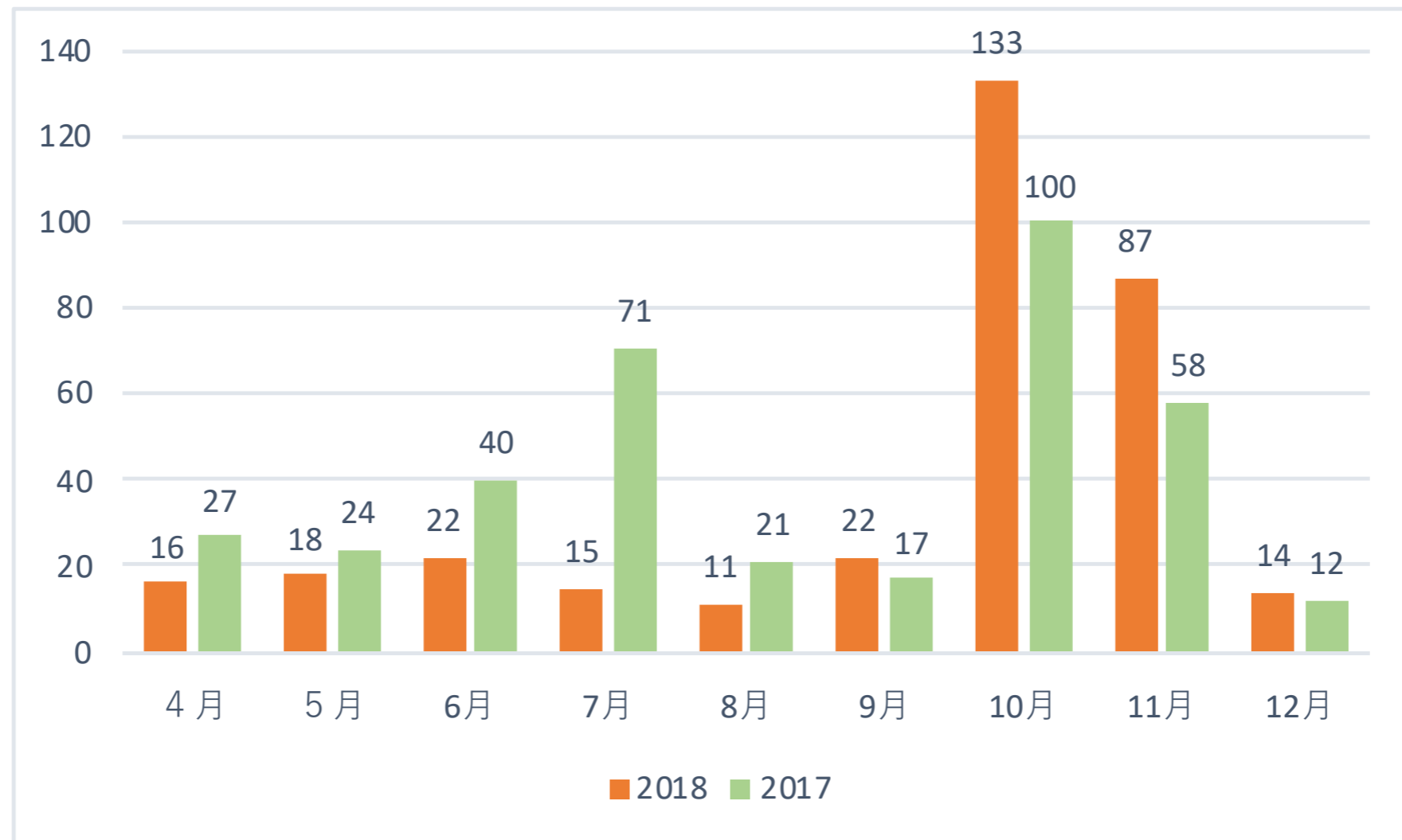
注 2017年6月、7月はテレワークデイ（現デイズ）との合算

注 2016年9月、10月、11月はMS社からの移行を含む

# 2018年実績

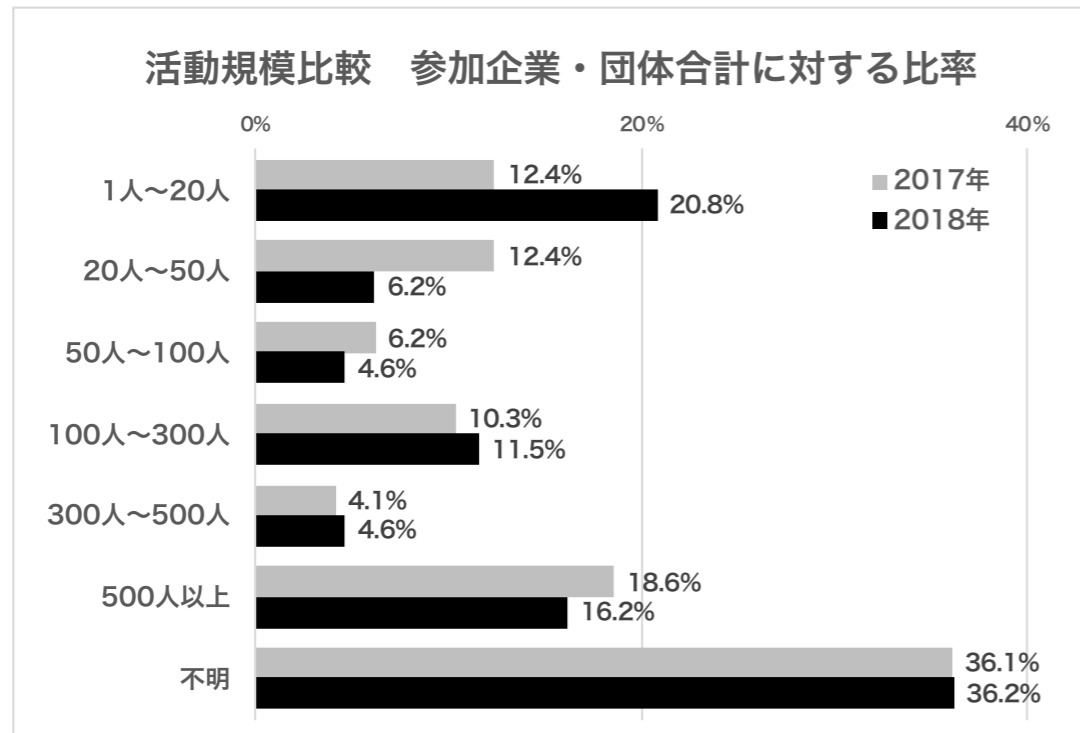
バナー・ロゴのダウンロード数推移は下図の通り。

- ◎バナー・ロゴのダウンロード数は2018年、2017年よりも増加している。
- ◎10月11月を中心にダウンロードされ、その数は登録数の数倍になっている。



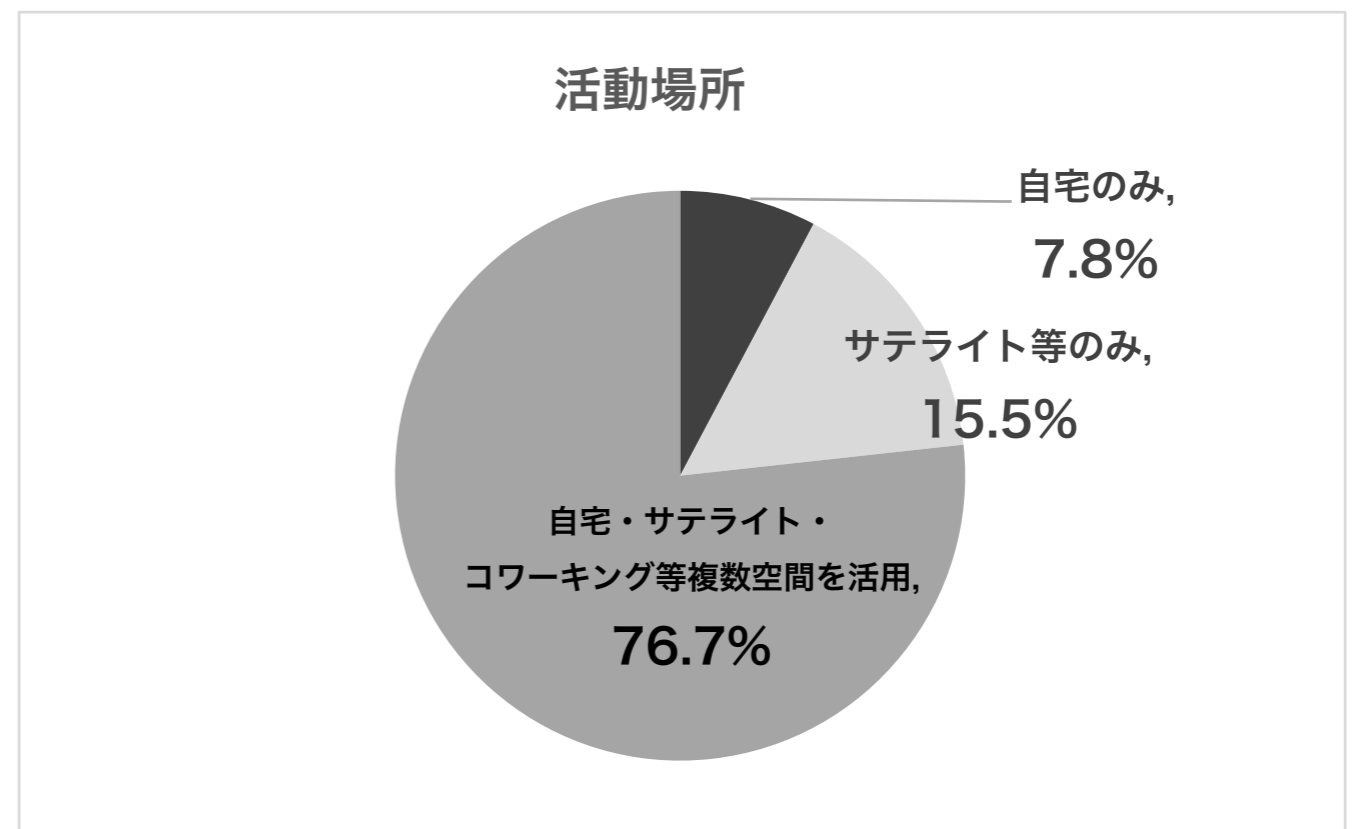
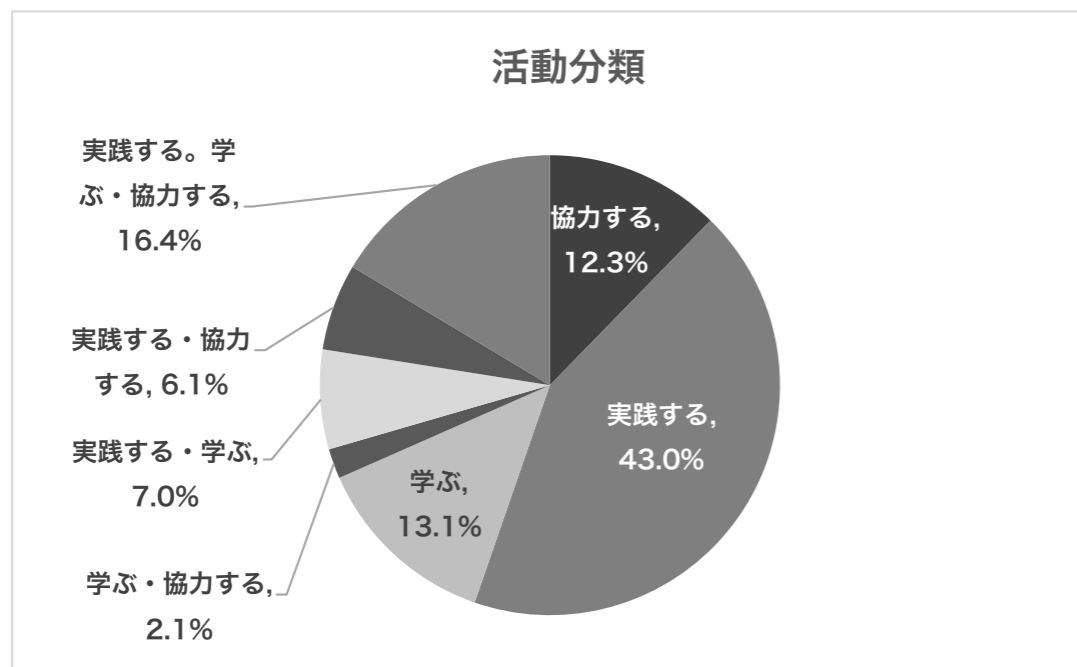
# 2018年実績の分析

## ▼小規模・個人の参加が増えている。



▼規模に関わらず、個人から大規模まで多様な場所でテレワークを実施している。場所（空間）のサービスの性質を理解し使い分けていることが推察される。

## ▼実践タイプの登録が多くなっている



# 2018年の分析から

- テレワーク月間への登録状況から、テレワークの実態を推測することができる。テレワークの実態を掴む1つの手法・側面として活用できよう。
- 月間に参加する意識の高いテレワーカーの実態を掴むことで、先々のテレワークの実態が見えてくる。
- 今後の月間活動は、テレワーク推進をPRしながら、同時にテレワーク実践者の業種、職種などを個人単位でデータを取るなどしながら、テレワーク社会（働き方改革の推進、WLBの改善、一億総活躍社会）の実現へ向け、ワーカーのムーブメントを維持・拡大していくことも考えられる。

# 2019年活動計画

## 基本方針

◎全国のテレワーク関連活動がテレワーク月間(11月)に向かって活性化されることを目指す。

◎テレワーク・デイズ終了までは、月間サイトからテレワークデイズ・サイトへの誘導を図る等テレワーク・デイズ連携に注力する。

ご清聴ありがとうございました。